

第7回 みんなで語ろう！ ~いなむら市長とともに 車座集会~

<ターゲット型 : 関西国際大学 教育学部 1 回生>

と き	平成24年7月18日(水) 午前10時40分~12時
と ころ	関西国際大学 尼崎キャンパス (尼崎市潮江1丁目3-23)
出席者	参加者 学長、担当教授、学生(1回生) 220人 関係者 市長、理事、顧問ほか 11人 計 231人
<p>今回は、パワーポイントによる図や写真を基に、尼崎市について説明しています。 その中で、学生に問いかけたりしていますので、対話録の中にも、「この図を見てください」とか、「この写真」という表現が出てきますので、別途添付している資料も併せてご覧ください。</p>	
<p><市長> おはようございます。 先ほど、尼崎市に住んでいる方は?という質問に対して手を上げてもらったら、尼崎市に住んでいる方は非常に少ないようでした。 皆さんは尼崎といっても、基本知識があまりないかも知れませんので、まず初めに基本的なことを話したいと思います。 尼崎市ができて、平成28年で100年になろうとしています。かなり歴史のある市ですね。 それでは、兵庫県で一番大きいのは何市でしょう?</p>	
<p><学生> 神戸市です。</p>	
<p><市長> そうですね。神戸市は政令指定都市、非常に大きくて人口が150万人ぐらいです。尼崎市は、政令指定都市に次ぐ中核市という比較的規模が大きい市です。姫路市、西宮市、尼崎市、この3つが中核市として、それなりの権限と財源を持っていることになります。人口は約45万人、阪神淡路大震災のあと人口が減りまして、その後少し下げ止まっていたのですが、最近若干減少傾向かなという感じです。世帯数でいうと約21万で、人口に対して世帯数が多く、一人暮らしの方や二人暮らしの方、人数の少ない世帯の方が比較的多いのが尼崎市の特徴です。面積は49.97平方キロメートルです。 この兵庫県の地図上では、右下(南東)の小さなところが尼崎市です。こんなに面積は小さいのですが、非常に人口が多く、人口密度が高い町です。 今は、臨海部の埋め立てが完了して新たに市域に編入となり、50平方キロメートルとなりましたが、ものすごく小さなところにたくさんの方が住んでいるのが尼崎市の特徴です。隣の西宮市は、上(北側)に山があり結構大きいですね。その隣の細長いのが芦屋市、その西隣の大きいのが神戸市ということになります。 それでは、尼崎市の隣にある都道府県はどこでしょう。</p>	
<p><学生> 大阪です。</p>	
<p><市長> そうですね。尼崎市は電話番号が「06」から始まります。たまに遠くから来られる方で、尼崎市を大阪と勘違いする方がいますけれども、尼崎市は兵庫県です。しかし、文化経済圏では大阪と隣同士で、商売、産業関係なども、大阪と一体的な活動をしていました。学生の皆さんは、固定電話をあまり使われないと思いますが、市外から電話するとお金が高くなります。市内局番では安いということもあって、尼崎市の産業界の運動により、大阪には取引先がいっぱいあるということで、電話番号が大阪と同じ市外局番が「06」となりました。大阪と隣合せの、こんなに大きい兵庫県の一番端に位置しています。</p>	
<p>この図を見てください。ここは、関西国際大学尼崎キャンパスがあるJR尼崎駅です。ココエなどができて大きく姿を変えたところです。先ほど申し上げたとおり、南北が約11キロ、東西でも約8キロと本当にコンパクトなところに皆さんの機能や公共施設が集中している利便性の高いまちです。</p>	

どちらかと言えば良いという人は 8.1%、3 . どちらかと言えば悪いという人は 54.8% という調査結果が出ました。

先ほど、尼崎というのは、産業都市、非常に多くの企業や工場が立地する「ものづくりのまち」だというお話をしました。皆さんは尼崎の歴史についても少し予習をしてくださっていると思いますが、まさに高度成長時代、皆さんが勉強された後の時代に、尼崎は本当に日本の成長を、阪神工業地帯の一角として支えてきました。代わりに多くの排気ガス、道路の自動車の排気ガス、工場からの煙突の排気ガスを含めて、非常に大きな公害といわれる環境汚染に悩まされた町でもありました。反面、そういう犠牲の上に、日本の高度成長、大きな経済発展があったということなんです。

<市長> この映像を見てください、昭和 31 年頃の尼崎。今の尼崎の臨海部の森を作ろうとしているところには、たくさんの煙突が立っており、もくもくと煙を出していました。この関西電力発電所は、東洋一の発電所と呼ばれていた時代です。

今は、煙が出る工場はなくなりましたが、この左の写真(昭和 31 年頃)から右の写真(現在の臨海部)に移るまでには、多くの裁判闘争もありましたし、住民の皆さんの運動もありました。いろいろな取り組みの結果、このような青空になったのです。

環境数値(二酸化硫黄)を見ましても、昔と比べて(昭和 48 年と平成 22 年の比較)どれだけ改善しているかの数値ですが、ほぼ環境基準レベルに落ち着いています。かつては公害に苦しんだという話は、皆さんの親の世代がよくご存知です。尼崎という町を知っている方は「公害の…」とおっしゃる方が少なくありません。

皆さんの年齢ですと、そうした意識は薄いですが、先ほど空気が箕面市より汚いという意見がありましたが、イメージも含めて誤解もあります。数値的に比べたら箕面市とはそんなに違いはありませんが、そのようなイメージが残っているのかも知れないということですね。

また、工場は多くの地下水を汲み上げて工業用水として使ってきました。その結果、尼崎の臨海部は大きな地盤沈下を起こしました。

皆さん、この前の東日本大震災で起こったような津波に尼崎も備えなければいけません。尼崎は非常に海拔が低い町です。これは工業用水の汲み上げにより地盤沈下を起こしているためです。

ところで、ジェーン台風って聞いたことがありますか。津波ではないのですが、満潮の時に大きな台風が来て、高潮が発生し大きな水害をもたらすというような災害にもあってきた町です。こうした地盤沈下により海拔が低くなり、水が滞留してしまい水質汚染も深刻でした。

台風の高潮被害を防ぐために防潮堤が尼崎の臨海を囲むように作られています。これも当時の市民、企業の方々が自分たちでお金を出し合い、市内で寄付を募るといった市民力で作られてきた、歴史のある私たちが誇りに思うべき防潮堤です。この防潮堤が機能すれば津波についても心配ありませんが、これを越えるような津波にも備えていくための防災対策を進めているところです。

次に、庄下川ですが、これは阪神尼崎駅付近にありまして、都ホテルニューアルカイクとか総合文化センターの近くにある川ですが、以前は非常にヘドロが多くて、高度成長期には周辺の住民や市を悩ませていましたが、今は、ラブリバー作戦の実施や庄下川をきれいにしようとしている市民の方々、企業の方の多くの努力が継続しており、大変綺麗になりました。この庄下川水系の生物化学的酸素要求量の数値表を見ていただいたら、桁が違いますよね。昔がいかにかひどかったかということもありますが、非常に改善されております。

このように、尼崎は、私達より上の世代の人たちの知識や印象もあり、まだ十分に以前のイメージを払拭しきれていない面もあるので、印象を聞いたときに、「イメージが良い」と答える人が圧倒的多数になっていないということが、今日わかりました。

そこで、今日の車座集会では、皆さんに是非、尼崎の魅力について知ってもらいたいと思っています。せっかく、大学生活を尼崎市で送られるわけですし、周りから「大学が尼崎にあるの?」と言われたときに、尼崎自慢ができるよう、尼崎の魅力について物知りになってもらいたいなと思っています。

<市長> 車座集会の前に、尼崎の歴史について予習をくださったということですが、そうした歴史よりも最近・今の尼崎の実感を聞いてみましょう。皆さんは市外から通われている方が多いかと思いますが、JR 尼崎駅以外でどこが行ったことはありますか。

<学生> ベイコムのある球場に行ったことがあります。
<市長> 尼崎記念公園には、大きな球場と記念体育館があります。これは第一種記念体育館といひまして、とても大きな競技ができるスポーツ施設です。 他はどうでしょう。学校の周辺以外に行ったことがありますか。
<学生> いや、ないです。
<市長> 皆さん、あまり行ったことないようですね。遊びにいくとしたら大阪ですか。
<学生> つかしんに行きます。
<市長> つかしんですね。皆さん、つかしんを知っていますか。グンゼが資本の大きなショッピングセンターです。 ちなみに尼崎にお住まいですか。沖縄出身なんですね。尼崎は沖縄や鹿児島出身の方がとても多いです。彼は少数派ではありません。多数派です。では次の方は。
<学生> 立花商店街に行ったりします。
<市長> そうですか。他に、今まで挙げられてきた以外の場所で行ったことがある人はいらっしゃいませんか。先ほどとは反対に、皆さんがいろいろなところに行っていたら尼崎のいいところもわかるかとは思いますが、尼崎のいいところを探してもらいましょう。どうでしょうか。
<学生> ココエが便利です。
<市長> ありがとうございます。他、どうでしょう。
<学生> 僕が思う尼崎は、みんな活気があって、行動力があって、若々しい。
<市長> ありがとうございます。他、女性にも聞いてみましょうか。
<学生> 大阪から近い。
<市長> 大阪から近い。皆さん買い物とかは大阪が多い。ココエより大阪なんですね。他どうでしょう。
<学生> 交通の利便性がいい。
<市長> 交通の利便性がいい。他どうですか。
<学生> 神戸や京都にも1時間くらいでいけるところ。
<市長> 大阪に近いだけでなく京都や神戸にも近いということですね。他どうでしょう。
<学生> 尼崎は都会的なイメージがあります。
<市長> 確かに便利ですね。尼崎のいいところの上位は、やはり、大阪にも近くて便利、また、神戸や京都にも近い、交通の利便性が非常に高い。そして、町の人達に活気があり、みんな元気。そうした意見をいただきました。では、次、聞いてみましょう。
<学生> 尼崎には友人が多いのですが、その人たち全員がすごく友だち思いで、連携が取れていると感じました。
<市長> 先ほど活気があるという意見ももらいましたが、尼崎の友だちは非常に友だち思いで情が厚い、都会的だという意見もいただきました。 「あまがさきノート」という小さいパンフレットはお持ちでしょうか。そこに小林可夢偉さんというF-1レーサーとして活躍されている尼崎出身の方のインタビューが載っていますが、「都会だけど温かいまち」と言っています。 消防団の組織率が都心部なのに非常に高いとか、消えた高齢者問題の時に、行方のわからなくなった高齢者は尼崎にはいないなど、地域のつながりとか温かい人情味あふれる下町の感覚が残っているのが、尼崎の特徴ですね。 では、スライドに戻りたいと思います。(電車の路線図を見て・・・) 大阪、神戸、上(北)に行きますと、伊丹、宝塚、福知山、京都の方へ繋がります。三都物語というJRのCMがありましたが、本当に、どこからも近い、真ん中のところなんです。 ここで、先週の尼崎の歴史の授業を思い出してください。尼崎は、はるか昔の平安時代から交通の要所として栄えてきた町です。海から運ばれてきたものが尼崎で船を乗り換え、荷物を積み替え、川を上って京都へ運ばれて行くという。東西の人の行き来、南北の人の行き来を、川を通じて、いろいろなものが交わる町なんです。尼崎はいろいろな人が行き来し交わる、多様性のある町なんですね。それは今もなお息づいています。 そして、活気があると言ってもらいました。この中央商店街、今はタイガースがこの状態でご

ざいますので、尼崎の商店街は盛り上がりませんが、尼崎はとにかく楽しみながらタイガースを応援する。歩いている人全員がタイガースファンではないです、当たり前ですけども。巨人ファンもいるし、中日ファンもいるけれども、タイガースを応援することで盛り上げられるなら、それはそれでいいという大らかで、タイガースが躍進していると必ずテレビに取り上げられる元気な商店街です。

また、先ほど紹介した F-1 レーサーの小林可夢偉さんがよく買い物していた所を可夢偉ロードと名づけて、マップにもしています。この中央商店街の中の写真、私の隣にいる人は、鈴鹿サーキットで有名な鈴鹿市の市長さんですが、可夢偉選手の関係で尼崎に来られて、可夢偉ロードをご案内した時の写真です。

次の写真は、つかしん、ココエ、塚口さんさんタウン、コストコなどの大型ショッピングセンターです。つかしんは、尼崎市と姉妹都市を提携しておりますドイツのアウクスブルクをイメージして、数年前にリニューアルされました。使節団を毎年交替で送っているのですが、アウクスブルクの若い方達がかしんに来ると大喜びで、自分たちの町並みが再現されており、なおかつ、ショッピングができるということで、毎年「長い時間を取ってください」とリクエストされるということです。

<市長> さて、次に、「世界を支えるものづくり産業のまち」。前半に述べましたとおり、尼崎市は高度成長期に工業都市として栄えてきましたが、環境汚染を乗り越えて、環境に配慮して、むしろ省エネとかの環境を支える側の産業を応援していこうという施策をとっております。経済と環境が相反するものでなく、環境を支える技術、環境と経済が共生する産業都市を目指して頑張っておりますし、環境を支える技術力を持った産業が尼崎市にはたくさんあります。

ちなみに、隣の西宮市や伊丹市は、酒どころであり、お酒作りが盛んなところですが、このお酒を入れる菰樽については、尼崎市が日本で8割のシェアを誇っています。

また、この JR 尼崎駅にあるこの像、見たことのある人はいますか。(梅川の像)

<学生> (大半の生徒が挙手)

<市長> それでは、この像が一体何なのかを知っている人。こうなるとマニアックになりますね。

これは JR 尼崎駅の北デッキの真ん中にある「梅川の像」ですが、近松門左衛門という江戸時代の劇作家の「曾根崎心中」という作品に出てくるヒロインが梅川さんなのです。

皆さんは、近松門左衛門が尼崎と何のゆかりがあるのかと思うかも知れないのですが、尼崎はいろいろな人が行き交う交通の要、近松門左衛門は作家であり、いろいろな人間模様をドラマにするシナリオライターです。大阪の人なのですが、尼崎のお寺によく遊びに来て、尼崎に留まり、旅人の面白い話を聞き、それをネタにたくさんの作品を尼崎で作っていきました。そして、縁のある尼崎で親交の深かった「広濟寺」というお寺にお墓があります。

今、近松記念館や近松公園も整備をされており、そうした東西南北の交通の要でたくさんの人たちが混ざり合うまちだからこそ、近松が作品を書いたという縁があり、近松のまち尼崎と銘打って文化を振興しています。

次に、「寺町」がどこにあるか知っている人はいますか。

ここは、もちろん京都ではありません。阪神尼崎駅のすぐ近くです。先ほどのタイガースを応援している中央商店街のすぐ近くに、一箇所に集められたお寺が 11 か寺あります。これは江戸時代初期、大坂城西の備えとして尼崎藩があり、藩主の戸田氏鉄という人が城下町を作る時に、お寺や神社を一箇所に固めたのが先ほどの寺町です。徳川率いる東軍と、豊臣率いる大坂方がならみ合っている中で、幕府から見ると大坂というのはまだまだ油断できない、食い止めなければならないということで、東西の境目なんです。お寺は、昔は武力もありましたから、一つに集めて監視するという目的と、大坂から見てこういったお寺を盾にして、この尼崎城を大坂の勢力から守っていたとも言われています。今も 11 か寺残っており、いくつものお寺を一度に見てまわることができますので、皆さん是非一度足を運んでほしいと思います。

次に、薪能の写真を見てください。この薪能というのは、野外に舞台を組んでまさに薪を焚きながら能を楽しむというものです。阪神尼崎駅のもっと南にある「大物の浦」という場所は、源義経が源頼朝に合戦で負けて、静御前と一緒に逃げていくという場面があるのですが、義経が静

御前と別れを告げて船出をした場所とされており、これを描いた能楽「船弁慶」にちなんだ行事として、毎年、薪能が行われています。

富松神社でも薪能が行われており、尼崎市内では能を2箇所で開催しています。恐いとか汚いとかいうイメージとはまた違うこういった魅力も尼崎にあるということを、皆さん、よく知っていただきたいです。

また、貴布禰神社ではだんじり祭りをやっています。これは街中をすごいスピードで駆け回るのではなくて、山合わせと言って、二基のだんじりが向かい合い、相手にかぶさったほうが勝ちという、勝ち負けを決める非常に盛り上がる夏の風物詩です。

あと、田能遺跡という弥生時代に存在していた遺跡もあり、非常に長い歴史のあるまちです。

臨海部の工場地帯では、重い工場製品を運ぶ上で今でも運河が使われています。運河の水質改善に努めており、運河をクルージングしながら、裏側から各工場の説明を聞いたりするようなツアーが行われています。そうした工場、工業の歴史も学んでもらう、防災の取り組みについても学んでもらうスポットへと大きく姿を変えていっております。

また、21世紀の森と言いまして、みんなで木を植えて、100年かけて森にしていこうという環境再生プロジェクトも行われています。

猪名川は、北側にある大阪との境の川ですが、自然と文化の森という協議会を作って、市民の皆さん中心に水遊びをしています。このような自然もたくさん残っている町です。

また、スイーツもあります。

今まで商店街を見てきました。大阪っぽい感じ。電話番号も06。そして寺町や貴布禰神社みたいな京都のような伝統文化もあります。そしてスイーツと言えば神戸でしょうか。

尼崎は、周辺のいいところを全部集めたかのようですね。皆さまアンテノールわかりますか。アンテノールの親会社はエーデルワイスですが、エーデルワイスの発祥の地が尼崎、ショウタニやツマガリさんは、エーデルワイスの師匠の下で修行をして有名なお菓子屋さんとなって巣立っていきました。このエーデルワイスのグランパティシエさんに子どもたちの前でケーキを作ってもらいました。塚口小学校の子どもたちはかぶりつきで大喜びでした。子どもたちの中にはパティシエになりたいという夢を持っている子がたくさんいます。素晴らしい専門技術を目の前で見られるというのも少ないかと思いますが、お願いをしたら快く引き受けていただきました。

尼崎は、大阪、神戸、京都のいろいろな要素を併せ持った、欲張りな町といった感じですか。少しは尼崎の魅力についても知っていただけただけでしょうか。

皆さんは一年生と聞いています。まだまだ、これから学生生活が本格化していくわけですね。尼崎で学生生活を送る皆さんへ是非、尼崎の町と繋がってもらいたいというのが、今日の私の大きな目的であります。

皆さんは、尼崎市で、そしてこの関西国際大学で何を勉強する予定ですか。何を勉強するために入学して来られましたか。

<学生> 英語です。

<市長> 英語の勉強。どんどん聞いていきましょう。どうですか。

<学生> 教育関係です。

<市長> 他はどうでしょうか。

<学生> 私も教育関連です。幼稚園で働きたいです。

<市長> 子どもたちの教育に関心があって、勉強しに来られたということですね。では、次の方。

<学生> 知的障害者の教育です。

<市長> わかりました。他、どうでしょうか。

<学生> 保育です。

<市長> 最近では、男性の保育士も増えてきました。期待したいところです。他、どうでしょうか。

<学生> まだ、決まっていません。

<市長> しっかり目的を持った方もいらっしゃると思いますが、これから決めていくという人は、どんどん現場に出て行ってもらいたいと思います。

私は、県議会議員になる前は証券会社に勤めていました。人生はどこで何がどう繋がるかわからないというのが実感なんです。最初から自分に向いていることがわからないことは当然だと思

います。だからこそ、いろいろなことに関心を持ってもらいたいし、いろいろな所にどんどん飛び込んでいてもらいたいと思います。

皆さんはこれから勉強していきますね。まだ、何かの専門家にはなっているわけではありません。そうした皆さんができることは何でしょうか。学生が町に出て行って、町と繋がる強みは何でしょうか。これを考えてみましょう。何だと思いますか。別に正解はないですよ。

<学生> 福祉の道を歩もうとこの大学に来ましたが、福祉を知るということは町を知らなければならぬ。それで町と繋がるということは、自分の勉学を生かせるという強みがあると思います。

<市長> 自分の勉強してきたことは大いに活かそうだということですね。他はどうでしょうか。町にとってこんなことがプラスになるのではないかと。こんなことが、自分にとってプラスになるのではないかと何でもいいですよ。机の上だけでの勉強でいいでしょうか。

<学生> ボランティアをすることによって、町に繋がっていきけると思います。

<市長> 何かボランティアをやっているんですか、これからやっといこうと思っているのですか。

<学生> はい。

<市長> 皆さんは、机の上でガリガリと勉強していくだけ、パソコンで勉強するだけでは十分でないと感じているだろうと思います。そして、町の中にどんどんと出て行っているいろいろな人と出会って、経験することが、これからの自分にとって大いに活かされるのではないかと、繋がっていくのではないかと感じているようでした。

実は、町で課題に取り組んでいる多くの人たちも、皆さんが町に関わってくれること、繋がってしてくれることを大いに期待しています。学生さんというのは、別にお金儲けのためにその人に近づくのではないので非常に喜ばれます。これは、非常に強みです。普通の人々が「手伝わせてください」と来ると、まず、どういう経緯ですかということから始まりますけれども、学生さんは勉強したいということがわかりやすいですよ。非常にスムーズに受け入れてくれるし、喜んでもらえます。

そして、まちづくりを行う上で、必要だと言われていることがあります。それは、「よそもの」「わかもの」「ばかもの」です。この3つがまちづくりを行っていく上で、既成概念にとらわれず新しい発想を持つのに必要だと言われています。皆さんは市外から来られている人が多かったですよ。市内に住んでいる方もどうですか。尼崎の歴史、今の町の隅々までを知っている人なんてほとんどいません。学生は少し地域から不利なところはあります。やっぱり「よそもの」なんですね。

しかし、実は、「よそもの」の素朴な発想、思いつきが、現場ではものすごく求められていたり、喜ばれるのです。こんなことを言ったら馬鹿にされる、恥ずかしい、大人になればなるほど、キャリアを積みば積むほど、そのように思ってしまう。でも皆さんは大丈夫。失敗するなら今。わからなくて当たり前。自由なことを言って、自由なことを感じて、それをいろいろな人に伝えていくだけでも、本当に多くのことが学べます。皆さんいいですか。誰かに会うだけ、体験するだけが勉強ではないのです。自分が素朴に思ったことを伝える、相手が言っていることを聞く。そしてわからなかったことを調べて、人と話す。そういったことをやって初めて活かされます。

大学の勉強というのは、問題が出されてその答えを書きなさいというものでした。でも社会に出て行く、町に出て経験をするとすることは、まず何が問題なのかを見つけることから始まります。これは簡単ではありません。世の中は複雑で、何故この問題が起こっているのか、何故この人たちが揉めているのか、対立しているのか、そんなことがいっぱいあります。それを「対立しているから嫌だな」でなく、「何故対立しているのかな」ということを考える問題を発見する力、課題を自分で設定する力というのが、社会に出てから本当に必要です。問題は与えられるものではなく、そして唯一無二の答えなんてありません。テストのときは、丸をつけてもらうために、その答えを覚えて書こうとします。でも、社会では自分の中で悩みながら考え、場合によっては変わって行くかもしれない、唯一絶対の正解がないからこそ、いろいろな人達と議論をしたり、もっと調べたり勉強をするのです。場合によっては、人間は傷つけあうことが往々にしてあります。自分は良かれと思ったのに、相手に拒絶をされるかも知れない。

特に感情がそれほど大きく揺さぶられていない時は、何かに気づくことはあまりありません。本当に自分が血肉として感じ、身につけていくということは、感情が大きく揺さぶられている時です。これを恐れていたのでは、本当に勉強する、本当に自分の今後に生かすことはできないと思います。そのときは辛いですよ。でも泣いて終わりじゃなくて、是非そこからいろいろな気づきに結び付けてもらいたい。これを学生の時にたくさんやった人は本当に強いと思います。泣かない人が強いのではなく、いろいろな経験から気付いていける人が本当に強い人なんですね。そういう人が、人と繋がる強い力を持てる人なんだと思います。

皆さん、せっかくこの尼崎市にある関西国際大学に入学されました。尼崎市の市長として大変嬉しいですし歓迎をしたいと思います。皆さんの大学生活で、この尼崎市というフィールドでいろいろな成長に繋がる経験を積んでくださることを心から期待しています。

また、尼崎というのは先ほどから何度も言いましたように、本当にいろいろな場所からいろいろな人が流れ込んで出来た多様性のある町、包容力のある町です。何と言っても、よそ者である私が市長に当選するぐらいですから、懐の深い町です。

皆さんがこの町と繋がり、学んでいくための絶好のフィールドがたくさんあり、そして、皆さんを喜んで受け入れてくれたり、時には叱られるかも知れませんが、皆さんにとって、将来忘れられない出会いとなるような人たちがたくさんいらっしゃる、そんな町だと思っております。

皆さんが、こうした町「あまがさき」と繋がる、そういった大学生活を送っていただきたいですし、その第一歩として、この車座集会在印象に残れば、嬉しいなと思います。

本日は、どうもありがとうございました。